

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2026年度 第1回 国際交流委員会
議事次第

日 付：2026年4月27日（月）10:00～11:30

開催場所：兵庫国際交流会館1階 Nadacom Station

委員校：兵庫県立大学(委員長校)、神戸市外国語大学(副委員長校)

明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、
関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、
神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭大学、神戸女学院大学、
神戸親和大学、神戸常盤大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、流通科学大学

計 24 大学

I. 協議事項

1. 2026年度国際交流委員会事業計画（案）について (資料1)
 - 1) 【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施
 - 2) 【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進
 - ①学生海外派遣プログラム
 - ②事業年度内に加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム

II. 報告事項

1. 2026年度国際交流委員会委員校について (資料2)
2. 神戸市外国語大学 模擬国連開会式について
3. 神戸常盤大学 学生海外派遣プログラム「オーストラリア看護研修コース」について (資料3)
4. 神戸学院大学 防災コミュニケーションカード進捗報告について (資料4)
5. Let's Go-setsu! 留学生日本人学生募集（6月17日（水）開催）について (資料5)
6. 英語村 留学生日本人学生募集（8月7日（金）開催）について (資料6)
7. 国際交流フェスティバル出展団体募集（12月5日（土）開催）について (資料7)

III. 連絡・調整事項

1. 2026年度定時総会について
 - ・日時：6月1日（月）15時00分～16時30分
2. 2026年度国際交流委員会の開催予定と主な議題について
 - ・第2回（9月）：2026年度タイプ3プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価(案)について
 - ・第3回（12月）：2026年度事業自己評価（案）について
 - ・第4回（翌2月）：2027年度事業計画・予算（案）について
 - ・第5回（翌3月）：2026年度事業報告・決算について
3. 「大学コンソーシアムひょうご神戸設立20周年記念式典・懇親会」について
4. 外国人留学生対象の合同大学説明会について

以上

<資料一覧>

- 【協議事項1】資料1-1：2026年度国際交流委員会 事業計画 詳細（案）
- 【協議事項1(参考)】資料1-2：2026年度国際交流委員会 事業予算
- 【報告事項1】資料2：2026年度国際交流委員会名簿
- 【報告事項3】資料3：神戸常盤大学 学生海外派遣プログラム「オーストラリア看護研修コース」
- 【報告事項4】資料4：神戸学院大学 防災コミュニケーションカード
- 【報告事項5】資料5：Let's Go-setsu! 留学生日本人学生募集（6/17開催）
- 【報告事項6】資料6：英語村 留学生日本人学生募集（8/7開催）
- 【報告事項7】資料7：国際交流フェスティバル出展団体募集（12/5開催）

○目的 「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル人材育成を目指した事業を展開する。

○委員校
 (全：24校) 委員長校：兵庫県立大学、副委員長校：神戸市外国語大学
 委員校：明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、流通科学大学

○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

| 課題及び期待される効果 | 取組 | 達成目標 | 活動指標 | 予算(千円) |
|--|--|---|------------------|-------------------|
| 課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進 1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施 ・企画チームにおいて学生が主体的に学ぶことによる行動変容や、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズへの取組促進、地域や企業へ高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。 ・日本人学生や地域の高校生等の海外機運醸成、留学促進等、グローバル人材の育成が期待される。 ・留学生が地域で活躍することや、外国人への防災教育等の実施を通して、多文化共生社会の地域における拠点となることが期待される。 | 1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施 | ①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②参加者数2500名以上/5年 | 参加者数 500名以上/年 | 9,625 (受託事業収入) |
| 課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進 2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進 ・各加盟校の強みや特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、人脈が広がることが期待される。 ・加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。 | 2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進 ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム | ①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②プログラム数10件以上/5年 | プログラム数 2件/年 | 50 |

| 計画 (4月記載) | | | 自己評価 (12月記載) | | | 報告 (3月記載) | | | | | |
|---|----|------------|--|--|----|--------------|----|--|--|--|--|
| <p>【日本学生支援機構受託事業】 <兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業> (1)国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成 ・多国籍企画チーム「Team G-Navi」の活動を実施 ・ファシリテーションやSNS等の研修 [各講座10~15名程]</p> <p>(2)高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組 ①生活の支援 ア：防災教育の実施 [年1回以上、30名~100名] イ：大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 ウ：生活相談や医療相談機関の案内 ②外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア：地域連携プログラム「英語村」 [年3回以上、各20人~50人] イ：大学との連携による共同事業 [年1回4コマ程度実施、各20名~70名] ウ：兵庫国際交流会館との連携による交流研究発表会の参加勧奨、 国際交流フェスティバルなどの実施 [各年1回、各20~100名] ③外国人留学生のキャリアサポート事業 日本企業と交流する機会や日本特有の就職活動、企業文化、ビジネスマナーを 学ぶ機会の提供 [5回以上開催、各30名~100名]</p> <p>(3)多文化共生社会の実現を推進する事業 「Nada Global Village(NGV)」の実施 [年8回以上開催、各20名~300名程度]</p> <p>(4)情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 [毎年6回以上開催]</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>達成目標に対する実績 【達成目標】 ①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 (期間中2回測定) ②参加者数2500名以上/5年</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>活動指標に対する実績 【活動指標】参加者数 500名以上/年</p> | | | | | | | | | | | |
| 自己評価基準：対到達目標※ | | | | | | | | | | | |
| 自己評価基準：対継続性※ | | | | | | | | | | | |
| 事業収支 | 収入 | 9,625,000円 | 支出 | | 収支 | | 支出 | | 収支 | | |
| 理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映) | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| ※自己評価基準：対到達目標 | | | 4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った | | | ※自己評価基準：対継続性 | | | 4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき | | |

| 計画 (4月記載) | | | 自己評価 (12月記載) | | | 報告 (3月記載) | | | | | |
|---|----|---------|--|--|----|--------------|----|----|--|--|--|
| <p>(1)学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学 【オーストラリア 看護研修】 文化的、社会的に全く異なる国を訪問し自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラム。 ※単位互換プログラム該当 ※参加費用は為替レートによって変動する場合あり [実施期間] 2026年8月7日 - 8月19日 13日間 (予定) [参加費用] 45万円程度</p> <p>【ネパール 医療検査コース】 日本と比較して医療施設や保健施設が整っていないネパールにて、自らの目で見て体で感じ、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラム。 ※単位互換プログラム該当 ※参加費用は為替レートによって変動する場合あり [実施期間] 2026年9月3日 - 9月11日 9日間 (予定) [参加費用] 35万円程度</p> <p>(2)各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放で、以下の効果が期待されるプログラム</p> <p>○自学では得ることができない学びの経験とネットワーク構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がることが期待されるプログラム</p> <p>○加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待されるプログラム</p> <p>JUEMUN 日本大学英語模擬国連 開会式 神戸市外国語大学 教職員に向けた開放プログラム</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>達成目標に対する実績 【達成目標】 ①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 (期間中2回測定) ②プログラム数10件以上/5年</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>活動指標に対する実績 【活動指標】プログラム数 2件/年</p> | | | | | | | | | | | |
| 自己評価基準：対到達目標※ | | | | | | | | | | | |
| 自己評価基準：対継続性※ | | | | | | | | | | | |
| 事業収支 | 収入 | 50,000円 | 支出 | | 収支 | | 支出 | 収支 | | | |
| 理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映) | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| ※自己評価基準：対到達目標 | | | 4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った | | | ※自己評価基準：対継続性 | | | 4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき | | |

【2026年度 国際交流委員会 事業予算】

資料1-2

(単位：円)

| | | 予算 | 各プログラム 予算 | | 委員会 予算 予算額 |
|----|---------|-----------|--|-------------------------|---------------|
| | | | ⑤取組1 | ⑤取組2 | |
| | | | 兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業の実施 (JASSO受託事業) | 加盟校の国際交流プログラムとの 連携促進 | |
| | | | 予算額 | 予算額 | |
| 収入 | 会費収入 | 150,000 | | 50,000 | 100,000 |
| | 助成事業収入 | 0 | | | |
| | 受託事業収入 | 9,625,000 | 9,625,000 | | |
| | プログラム収入 | 0 | | | |
| | 雑収入 | 0 | | | |
| | 戻入金 | 0 | | | |
| | 計 | 9,775,000 | 9,625,000 | 50,000 | 100,000 |
| 支出 | 会議費 | 70,000 | 50,000 | | 20,000 |
| | 旅費交通費 | 130,000 | 130,000 | | |
| | 通信運搬費 | 282,000 | 232,000 | 20,000 | 30,000 |
| | 消耗品費 | 247,000 | 237,000 | 10,000 | |
| | 新聞図書費 | 0 | | | |
| | 印刷製本費 | 70,000 | | 20,000 | 50,000 |
| | 光熱水料費 | 0 | | | |
| | 賃借料 | 370,000 | 370,000 | | |
| | 保険料 | 0 | | | |
| | 謝金 | 806,000 | 806,000 | | |
| | 租税公課 | 0 | | | |
| | 支払手数料 | 18,000 | 18,000 | | |
| | 諸会費 | 0 | | | |
| | 委託費 | 462,000 | 462,000 | | |
| | 人件費 | 7,320,000 | 7,320,000 | | |
| | 接待交際費 | 0 | | | |
| | 支払支援金 | 0 | | | |
| | 雑費 | 0 | | | |
| | 計 | 9,775,000 | 9,625,000 | 50,000 | 100,000 |

| | |
|-------|---|
| 収入-支出 | 0 |
|-------|---|

【2026年度 第1回 国際交流委員会出席者名簿】

委員長校:兵庫県立大学

副委員長校:神戸市外国語大学

青色が参加大学・参加者です

| | 法人名 | 学校名 | 所属 | 役職 | 委員 | 所属 | 役職 | 委員(事務) | 委員以外出席者所属 | 役職 | 氏名 |
|-------|-------------------|-------------------|---------------------------|--------------------|-------------|-----------------------|--------------|---------|--------------------|------|-------|
| 1 | 兵庫県公立大学法人 | 兵庫県立大学 | 国際商経学部 | 教授 | 横山 由紀子 | 教育企画部国際交流推進課 | 課長 | 光永 恵子 | (陪席)教育企画部国際交流推進課 | 主任 | 中山 太郎 |
| 2 | 神戸市公立大学法人 | 神戸市外国語大学 | 国際交流センター | 国際交流センター長 | 中嶋 圭介 | 国際交流センター | 係長 | 壽谷 理恵 | | | |
| 3 | 独立行政法人 国立高等専門学校機構 | 明石工業高等専門学校 | グローバルエデュケーションセンター | グローバルエデュケーションセンター長 | マウンイェ スウィソウ | 総務課総務係 | 係員 | 岸元 嘉規 | | | |
| 4 | 学校法人 芦屋学園 | 芦屋大学 | 国際交流課 | 准教授 | 山片 崇嗣 | 国際交流課 | 職員 | 木村 郁斗 | | | |
| 5,6 | 学校法人 大手前学園 | 大手前大学・大手前短期大学 | 経営学部 | 教授 | 黄 磷 | 国際交流留学生センター | 課長 | 奥田 明美 | | | |
| 7 | 学校法人 濱名山手学院 | 関西国際大学 | グローバル学科 | 教授 | 佐藤 恭仁彦 | 国際部 | 部長 | 三木 宏夫 | | | |
| 8 | 学校法人 関西金光学園 | 関西福祉大学 | 教育学部保健教育学科 | 准教授 | 市橋 真奈美 | 学生支援課 | 課長 | 高橋 琴代 | | | |
| 9,10 | 学校法人 関西学院 | 関西学院大学・関西学院大学短期大学 | 国際連携機構 | 機構長補佐 法学部教授 | 大東 和重 | 国際連携機構事務部 | 次長 | 鳥山 直子 | | | |
| 11 | 学校法人 甲南学園 | 甲南大学 | 国際交流センター | 副所長 | 大谷 祐二 | 国際交流センター | 課長 | 小幡 真史 | | | |
| 12 | 学校法人 甲南女子学園 | 甲南女子大学 | 文系学部事務課 | 全学国際交流担当部長 | 梅原 大輔 | 文系学部事務課 | 課長 | 塩谷 将隆 | | | |
| 13 | 国立大学法人 神戸大学 | 神戸大学 | 高等教育推進機構グローバルエンゲージメントセンター | 教授 | 河合 成雄 | 学務部国際課 | 課長 | 木村 みどり | | | |
| 14 | 学校法人 神戸学院 | 神戸学院大学 | 国際交流センター | 所長 | 岡部 芳彦 | 国際交流センター | 事務部長 | 影本 由美子 | | | |
| 15 | 学校法人 八代学院 | 神戸国際大学 | 学生支援センター(国際交流・国際別科担当) | 国際交流センター長 | 北 邦弘 | 学生支援センター(国際交流・国際別科担当) | 室長 | 堀口 亜希 | | | |
| 16 | 公立大学法人神戸市看護大学 | 神戸市看護大学 | 看護学部 | 教授 | 森山美香 | 教務学生課 | 担当事務職員 | 山口智恵 | | | |
| 17 | 学校法人 松蔭学院 | 神戸松蔭大学 | 学務部 | 学長補佐(学生担当) | 土肥 伊都子 | 学務部学生課 | | 高木 るい | | | |
| 18 | 学校法人 神戸女学院 | 神戸女学院大学 | 国際交流センター | 課長 | 高地 雅之 | | | | | | |
| 19 | 学校法人 親和学園 | 神戸親和大学 | 国際・留学センター | センター長 | 新藤 照夫 | 国際・留学センター事務室 | 課長 | 関根 慎二 | | | |
| 20 | 学校法人 玉田学園 | 神戸常盤大学 | 国際交流センター | センター長 | 浦 みどり | 国際交流センター | 総括事務 | 青木 弥生 | | | |
| 21,22 | 学校法人 陸学園 | 兵庫大学・兵庫大学短期大学部 | 留学・国際交流センター事務室 | 課長代行 | 上田 泰雅 | | | | | | |
| 23 | 兵庫県公立大学法人 | 芸術文化観光専門職大学 | 芸術文化観光学部 | 教授 | 塩川 太郎 | 教育企画部学務課 | 国際交流コーディネーター | マコメ 佳奈子 | | | |
| 24 | 学校法人 中内学園 | 流通科学大学 | 商学部 | 准教授 | 辻 周吾 | 留学生支援部 | 課長 | 岩本 拓馬 | (代理)留学・国際交流センター事務室 | 課長代行 | 上田 徹 |

事務局

| | 部署 | 役職 | 氏名 |
|-----------------|--------------|--------|--------|
| 大学コンソーシアムひょうご神戸 | 国際交流・キャリアチーム | 次長 | 鈴木 真紀子 |
| | 国際交流・キャリアチーム | サブリーダー | 慈 麻衣子 |
| | 国際交流・キャリアチーム | | 朝川 浩美 |

加盟校24校中17校(70.83%)17名

うち陪席1名

2026年8月実施 オーストラリア看護研修

自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラムです。
また、単位互換制度を利用して単位認定を受けることもできます。

参加者
募集

今しかできない経験を
世界を知る、広がる可能性

日程 2026年8月7日-8月19日

費用 45万円程度
※為替レートによって変動する場合があります。
※海外旅行保険料、現地での交通費等、別途個人負担があります。

募集人数 若干名



University of New Castle, Gosford



ナイチンゲール博物館



Gosford
Hospital



世界遺産ブルー・マウンテンズ

説明会

4月4日(土)10:40~12:10

神戸常盤大学1305教室にて

【申込方法】

右記のQRコードより必要事項入力の上、お申し込みください。

【申込締切日】

4月3日(金)12:00まで

【問合せ先】

神戸常盤大学国際交流センター
gcc@kobe-tokiwa.ac.jp



注) 本プログラムは神戸常盤大学の選択授業である、国際保健医療活動IIを開放科目として提供しています。各国・各コースへ神戸常盤大学生の参加が履修規定者数未満の場合、該当コースのみ開催しないことがあります。

提供校: 神戸常盤大学



令和8年度大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣プログラム
神戸常盤大学保健科学部看護学科「国際保健医療活動 II」
オーストラリア看護研修 実施要項

- 往路 8月7日(金)大阪発(17:25) — 8月8日(土)シドニー着(10:25)
 ■往路 8月18日(火)シドニー発(18:00) — 8月19日(水)大阪着(08:50)

| | | |
|----------|---|------------|
| 8月7日(金) | 関西国際空港発 | 機中泊、機内食 |
| 8月8日(土) | シドニー・キングスフォード・スミス国際空港着 研修地のニューカッスルへ移動 各ホームステイ先へ | ホームステイ |
| 8月09日(日) | ホストファミリーとの交流 | ホームステイ |
| 8月10日(月) | 【全日】TAFE(州立専門学校)語学研修 | ホームステイ |
| 8月11日(火) | 【全日】TAFE語学研修 | ホームステイ |
| 8月12日(水) | 【午前】TAFE Nursing program 【午後】Nursing English | ホームステイ |
| 8月13日(木) | 看護大学、病院、高齢者施設等への訪問 | ホームステイ |
| 8月14日(金) | ※研修地：ゴスフォード | ホームステイ |
| 8月15日(土) | ニューカッスルからシドニーへ移動 シドニータワーなど周辺散策 | ホテル泊(食事なし) |
| 8月16日(日) | 世界遺産のブルーマウンテンズ観光 動物園にてコアラとのふれあい | ホテル泊(食事なし) |
| 8月17日(月) | ナイチンゲール博物館、移民博物館、原住民美術館訪問 | ホテル泊(食事なし) |
| 8月18日(火) | シドニー・キングスフォード・スミス国際空港発 | 機中泊、機内食 |
| 8月18日(水) | 関西国際空港着 | |

※ 全日程において、現地で働く日本人看護師の充実したサポートが受けられる安心で充実した研修プログラムです。

【主となる研修先】

- ・TAFE ニューカッスル校
所在地：266 Maitland Rd, Tighes Hill NSW 2297
- ・Gosford Hospital
所在地：75 Holden St, Gosford NSW 2250
- ・University of New Castle, Gosford
所在地：77 Holden St, Gosford NSW 2250
- ・Peninsula Village, Umina Beach
所在地：91 Pozieres Ave, Umina Beach NSW 2257

*ただし、訪問予定施設の都合により、訪問先の変更や日程が変わることがあります。

【参加費用】

約45万円(※学生個人の実費相当分のみ概算になります)

[旅行代金に含むもの]

航空運賃、ホームステイ代金(3食付き)、ホテル宿泊代金(食事なし)、日程表記載の研修費用、日程表記載の観光費用、現地バス移動費用、現地ガイド代金

[旅行代金に含まない主なもの]

ETAS(オーストラリア電子渡航許可)取得費用 --システム利用料 20A\$

現地電車移動時の運賃、関西国際空港までの交通費、海外旅行傷害保険代金、その他個人的諸費用

フィールドワーク型プログラムとは

日本と比較して医療施設や保健施設が整っていない「ネパール」。自らの目で見て体で感じ、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラムです。



資料3

今しかできない経験を 世界を知る、広がる可能性

2026年9月実施

医療検査ネパールコース

参加者
募集

医療系プログラムフィールドワーク型 学生海外派遣プログラム

日程

2026年9月3日～11日 (予定)

研修内容

○フィールドワーク

☆水質調査

カトマンズ、ナガルコットなどの各所で採水し、水の汚染程度を解析

☆地域住民調査(※実施しない場合もあり)

将来の健診項目の予備的实施 身体計測(身長、体重、BMI)など

○病院訪問

費用

約35万円程度

※為替レートによって変動する場合があります。
※海外旅行保険料、現地での交通費等、別途個人負担があります。

募集人数

若干名



説明会

4月4日(土) 10:40～

【申込方法】右記のQRコードより必要事項入力の上、お申し込みください。

【申込締切日】4月3日(金) 12:00まで

【問合せ先】神戸常盤大学国際交流センター
gcc@kobe-tokiwa.ac.jp



注) 本プログラムは神戸常盤大学の選択授業である、国際保健医療活動IIを開放科目として提供しています。各国・各コースへ神戸常盤大学生の参加が履修規定者数未満の場合、該当コースのみ開催しないことがあります。

提供校: 神戸常盤大学



今、参加を迷っているあなた！
参加しなければ気づけないことがあります。
学生生活で今しかできない経験するチャンスです！
ぜひご応募ください。



2025年度 スケジュール

災害時の外国人コミュニケーションツール

「BOSAIコミュニケーションカード」の
開発とフェーズフリーな活用にむけたプロジェクト

| | |
|-----------------------|--|
| キックオフ オンライン MTG | 【日時】 2025年6月7日(土) 14:00～15:00 【場所】 オンラインZoom 【テーマ】 顔合わせ・プロジェクトの概要説明 |
| 第1回 WS | 【日時】 2025年7月6日(日) 9:30～12:30 【場所】 兵庫国際交流会館1階 ナダコムステーション 【テーマ】 南海トラフ巨大地震について学ぶ |
| 第2回 WS | 【日時】 2025年9月6日(土) 9:30～12:30 【場所】 兵庫国際交流会館1階 ナダコムステーション 【テーマ】 命を守るコミュニケーション・言葉を考える |
| プロトタイプ お試し会 | 【日時】 2025年9月20日(土) 10:00～13:00 ※別の機会も検討中です 【場所】 HAT神戸 【テーマ】 地域の防災訓練や防災イベントで体験してもらおう |
| 第3回 WS | 【日時】 2026年2月15日(日) 9:30～12:30 ※終日になる可能性あり 【場所】 兵庫国際交流会館1階 ナダコムステーション 【テーマ】 改良版を作成しよう |



※スケジュールは、連携先との調整により変更になることがあります。

※2026年度については、改良版お試し会、完成品お披露目会、図上訓練の実施など、年4回開催を予定しています。

Q&A



Q1.防災の知識がなくても参加できますか？

A1.ぜひ参加してください！プロジェクトの活動を通して、一緒に防災を学びましょう。

Q2.授業、就活、部活、バイト等と両立できるか不安です…

A2.大丈夫です。ミーティングに参加できないときは、チームや学生全体で情報共有するなどお互いに助け合いながら活動しましょう！

Q3.語学が得意ではないので不安です…

A3.言語が異なる人のコミュニケーションを取りやすくするためのプロジェクトです。多言語対応は、みんなで力を合わせて取り組むので安心して参加してください。

わからないこと、相談したいことがあれば、お気軽にご連絡ください！



参加学生 災害時の外国人コミュニケーションツール

募集!

「BOSAIコミュニケーションカード」の 資料4
開発とフェーズフリーな活用にむけたプロジェクト

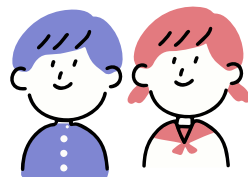
日本人学生も留学生も一緒に取り組もう!

近年、日本国内で多発している地震や水害などの自然災害。

2025年1月15日には、南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率が80%程度に引き上げられ、いつ起きてもおかしくない状況です。

災害時に、避難情報などを理解できないおそれがある外国人に対する備えとして「防災教育」と「コミュニケーションツール」の開発に参加してみませんか?

阪神・淡路大震災から30年を迎えた兵庫県での当活動では、単にツールを作るだけでなく、フェーズフリーな活用を促し、災害時も外国人が「安心」して情報を得て、適切に行動できる地域づくり・多文化共生社会の実現を目指します。



1 地域と顔を合わせる環境で外国人が防災知識を習得する機会を設けると同時に、災害時のコミュニケーションツール「BOSAIコミュニケーションカード」を開発する。

※Wi-Fi環境がない場所では、スマートフォンにダウンロードされた翻訳アプリは使えません。災害時のお守りとして普及できるものを作ります。

2 「BOSAIコミュニケーションカード」を活用した災害図上訓練を検討する。

※日頃の訓練で使い慣れておくことで、災害時にスムーズに活用することができるように目指します。
(フェーズフリーな備え)



活動期間 2025年6月7日(土)～2027年3月末まで

- ①スケジュールの詳細は裏面をご覧ください。
※スケジュールに書かれている取り組みについては、交通費支給あり(実費)
- ②全プログラムへの参加が望ましいですが、事情により難しい場合はご相談ください。
- ③2カ年事業ですが、4年次生の学生の参加も受け付けます。

参加費
無料

応募条件 兵庫県内の大学に所属する学生・留学生

応募締切 2025年5月16日(金)まで

募集人数 20名程度

申込方法 右記 2次元コードからお申込み下さい

主催 大学コンソーシアムひょうご神戸
神戸学院大学

SCAN ME!



地震
Terremoto
Trận động đất

頭を守って
Protect your head from falling objects
保護好頭

建物の外へ逃げて
Escape from the building
走出建筑物的外面

足元に気を付けて
Watch your step
請注意脚下

持ち物はそのまま
Leave your belongings as they are
持有物品保持不變

車は使わないでください
Do not use your vehicle to evacuate
請不要使用車輛

余震に気を付けてください
Be careful of aftershocks
請注意余震

火災
Fuego
Ngon lửa

外に出てください
Please go outside
請出去

低い姿勢で
Stay low
低姿態

押さないで
Do not push
不要按壓

煙があるので、ハンカチで口を覆って
There is smoke. Cover your face with a cloth or use handkerchiefs, avoid inhaling smoke

エレベーターは使わず階段を使用
Use the stairs, not the elevator
請使用樓梯，不要使用電梯

戻らないで
Do not go back in
不要回來

津波
Tsunami
Sóng thần

津波が来ます
A tsunami is coming
海嘯來了

高台に逃げましょう
Escape to higher grounds
我們去高台逃吧

こつちが安全だからついてきて
It is safe over here, please follow me
這邊比較安全，所以跟我來吧

川と沿岸の近くに行かないでください
Do not go near the river/coastal areas
不要靠近河流或海岸線

車は使わないでください
Do not use your vehicle to evacuate
請不要使用車輛

すぐに避難して
Evacuate immediately
馬上避難

その他
Otros
Người khác

大丈夫ですか
Are you feeling alright?
你還好嗎?

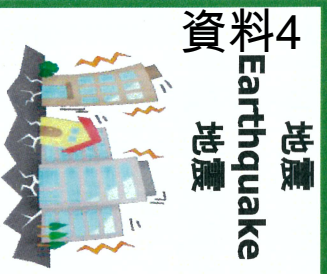
助けが必要ですか
Do you need help?
需要幫助嗎?

日本語わかりますか
Do you understand Japanese?
你懂日語嗎?

落ち着いてください
Please calm down
請冷靜

焦らず、慌てないで
Do not rush/panic
不要着急，保持冷靜

一緒に来て
Follow me
一起來



地震 Earthquake
地震 地震



頭を守って
Protect your head from
falling objects
保護好頭



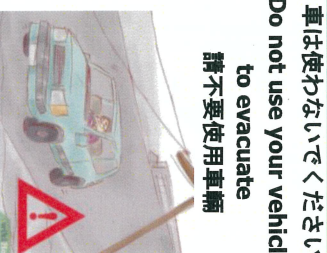
建物の外へ逃げて
Escape from the building
走出建築物的外面



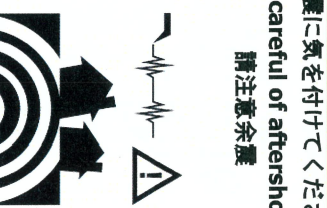
足元に気を付けて
Watch your step
請注意腳下



持ち物はそのまま
Leave your belongings as
they are
持有物品保持不變



車は使わないでください
Do not use your vehicle
請不要使用車輛



余震に気を付けてください
Be careful of aftershocks
請注意余震



火災 Fire
火 火



外に出てください
Please go outside
請出去



低い姿勢で
Stay low
低姿態



押さないで
Do not push
不要按壓



煙があるので、ハンカチで口
を覆って
There is smoke. Cover
your face with a cloth
用手帕捂住嘴，避免吸入煙霧



エレベーターは使わず階段
Use the stairs, not the
elevator
請使用樓梯，不要使用電梯



戻らないで
Do not go back in
不要回來



津波 Tsunami
海啸 海啸



津波が来ます
A tsunami is coming
海啸來了



高台に逃げましょう
Escape to higher
grounds
我們去高台逃吧



こっちが安全だからついて
きて
It is safe over here,
please follow me
這邊比較安全，所以跟我來吧



川と沿岸の近くに行かない
でください
Do not go near the
river/coastal areas
不要靠近河流或海岸線



車は使わないでください
Do not use your vehicle
to evacuate
請不要使用車輛



すぐに避難して
Evacuate immediately
馬上避難

その他 Other
其他的 其他的



大丈夫ですか
Are you feeling alright?
你還好嗎?



助けが必要ですか
Do you need help?
需要幫助嗎



日本語わかりますか
Do you understand
Japanese?
你懂日語嗎?
日本語?



落ち着いてください
Please calm down
請冷靜



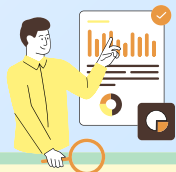
焦らず、慌てないで
Do not rush/panic
不要着急，保持冷靜



一緒に来て
Follow me
一起來

June

17



Experience Japanese joint job fair!

資料5

Let's GO-setsu! 10:30am~16:00pm



Schedule *subject to change

10:30~11:30 Japanese Lecture

11:30~12:30 Exchange Lunch with



Let's move to Sambo Hall by bus!



Japanese Students

12:30~16:00 Job Fair @KOBE Sambo Hall



The morning session will take place at Hyogo International House (HIH) then after lunch, we are heading to the Job Fair at KOBE SANBO HALL in Sannomiya by Bus!!



Japanese university students will support you during job fair. You can also interact with Japanese students in the lunchtime.

We have a Japanese lesson Before visit the job fair, we will learn easy Japanese for job hunting together. Let's make new friends!



At the fair place, we are going to visit a few booths of companies which can introduce themselves in English



Apply from here!



Sponsor and Inquiry : The consortium of universities in Hyogo Co-Sponsor: JICA KANSAI JETRO KOBE

JETRO Japan External Trade Organization



WORK in KOBE & HYOGO!

KOBE x HYOGO 74th

Job Fair for International Students

6/25 (WED) 25

10:30am - 4:00pm

@Kobe Samb

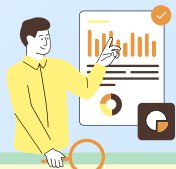
Eligible for International students who are graduated from universities, graduate schools, junior colleges, special training colleges, Japanese language schools, etc.

Free Admission



6月17日

水



Let's GO-setsu!

資料5

合同企業説明会ツアー アシスタント募集



Schedule

*変更の可能性があります



Let's move to Sambo Hall by bus!

会場：兵庫国際交流会館 ナダコム

10:30~11:30 日本語を学ぶ

11:30~12:30 留学生と交流しながら
ランチ

12:30~ 神戸サンボーホールへLet's GO

13:00~16:00 合同企業説明会



日本での就職を希望する留学生と一緒に日本語を勉強→合同企業説明会に参加します。
日本語・英語を使って留学生をサポートをしてくださる学生さんを募集しています！

謝礼はStarbucksギフトカード
活動時間数に応じてお渡しします。
申込フォームにて、参加可能な時間を入力してください。



午前中は、兵庫国際交流会館で、日本語の講座があります。
留学生が就活に関する日本語を学ぶのを、ロールプレイングなどでお手伝いをお願いします。
サンボーホールでは、企業ブースを回ります。
留学生が説明を聞いたり、質疑応答する際のサポートをお願いします。
留学生の熱気あふれる会場の雰囲気も是非楽しんでください。

Apply
from here!



主催
大学コンソーシアムひょうご神戸
JICA関西
JETRO神戸

JETRO

Japan External Trade Organization



WORK in KOBE & HYOGO!

KOBE×HYOGO・74校

Job Fair
for International Students

6/25 (WED) 25

10:30 am - 4:00 pm

@Kobe Samb

Eligible for International students who are graduated to graduate schools, junior colleges, special training colleges, Japanese language schools, etc.

Free Admission



県下すべての大学によるすべての大学のための
一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸

〒651-0072 兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目2-8 兵庫国際交流会館 1F

☎ Tel 078-271-0233

☎ Fax 078-271-0244

✉ Email info@consortium-hyogo.jp

🌐 HP https://consortium-hyogo.jp/



プログラム実施報告書

| | | | |
|--|---|----|---|
| プログラム名 | 2(3)1 Let's GO-SETSU! ガイダンス (午前) | | |
| 日時 | 令和7年6月25日(水) 10:00~13:15 | | |
| 開催場所 | 兵庫国際交流会館1階 ナダコム | | |
| 内容 ・ (講師) | 講師：横田 彩子 (流通科学大学非常勤講師) 就職活動に役立つ日本語を講義形式で学ぶ。外国人留学生の採用に積極的な企業4社の採用関連担当者にお越し頂き、外国人留学生への会社紹介および質疑応答を行う。当コンソ、連携機関および通訳補助学生が通訳サポートをする。 | | |
| 対象 | 大学・大学院生 (外国人留学生・日本人学生) | | |
| 主催 | 大学コンソーシアムひょうご神戸 | | |
| 共催 | JICA 関西、JETRO 神戸 | | |
| 参加者 | 計 39名 延べ人数 | 内訳 | 教職員 1校 1名 |
| | | | 大学生 7校 12カ国 21名 (外国人留学生：6校 11カ国 17名、日本人学生：2校 4名) |
| | | | 一般 3カ国 15名 |
| | | | コンソスタッフ 2名 |
| 内容詳細 | | | |
| 【開催経緯】 | | | |
| <p>日本での就職活動は日本独自の慣習の上に成り立っており、また日本語能力を求められることから、就職活動につまずく外国人留学生が少ない。日本の企業の採用関連担当者と直接対話する、企業説明を聞く、他の外国人留学生の活動状況を知る等、まず就職活動を取り巻く状況を理解し、外国人留学生が自分には何が必要かを考えるきっかけとなるプログラムを企画した。昨年同様に就活に必要となる日本語を学ぶ講座に加え、今年度より当コンソを含む3者協定から4者協定に拡大した他機関との連携を活かし、JETRO 神戸支援企業の中から4社に兵庫国際交流会館にお集まり頂いた。自社についてのイントロダクションと外国人留学生との対話を通じて、相互に相手を知ることが狙いとした。また当コンソ加盟校に周知し、国際交流活動に積極的な日本人学生に「通訳補助」を務めてもらい、外国人留学生との交流と、企業人事担当者、JICA 関西、JETRO 神戸等各機関の職員との交流をはかり、国際的に活躍する人材育成も目指す。</p> | | | |
| 【プログラム】 | | | |
| 10:00 日本語講師 横田彩子先生による日本語講座 | | | |
| 11:00 企業のイントロダクション・採用関連担当者との対話 セッション① | | | |
| 11:15 セッション② | | | |
| 11:30 セッション③ | | | |
| 11:45 セッション④ | | | |

12:00 セッション⑤

12:15 終了 昼食

13:15 昼休憩終了

【各回詳細】

日本語講座を担当する横田先生は流通科学大学での日本語指導のほか、日本語学校での指導、企業での「やさしい日本語」指導等の経験が豊富なうえ、企業で社員として海外支店での勤務経験もあり、海外からみた日本企業や日本の就職活動の不思議さを理解した上で日本の慣習を丁寧に説明して下さり、外国人留学生も納得しながら話を聞いていた。集まった外国人留学生は日本語能力の高い学生から、ひらがなも読めない初級レベルの外国人留学生まで様々だった。講座ではグループ形式で席につき、各グループに一人通訳補助の日本人学生に入ってもらった。外国人留学生への補足説明や、ロールプレイングの相手役、名刺の受け渡し練習の相手等、世間話で仲良くなりながら多くの役割を果たしてくれた。また当コンソ、JICA 関西、JETRO 神戸スタッフも積極的に学生たちのテーブルに加わった。合同説明会で企業のブースを訪れたら、姿勢よく座る。鞆はスマートに地面に立てて置けるタイプのものを持参する。そうでなくても、説明を聞く姿勢は見苦しくないように気を付ける。「英語で話してもよろしいでしょうか」というフレーズを練習する等、すぐ使える知識を学び、実践した。

11 時からの企業との交流セッションで参加した企業は株式会社ヤマシタワークス、白鶴酒造株式会社、ダイナックス工業株式会社、カネテツデリカフーズ株式会社の4社。ナダコムを広く使い、それぞれにモニターを備えた簡易なブースを設営し、外国人留学生がグループごとに15分ずつ順番に回っていく方式にした。ダイナックス工業株式会社、カネテツデリカフーズ株式会社は社員の方による英語でのインストラクション。他の2社はスタッフおよび日本人学生による翻訳を行った。外国人留学生からの質問も活発で、どのブースでも絶え間なく話し声が聞こえた。英語での質問もあれば、苦心しながらも日本語での質問をする外国人留学生もいた。

各ブースには、その企業に興味をもった場合には自分の連絡先を書いて渡せるよう用紙を用意したが、記入して提出している学生がとても多かった。

【所感及び今後の展開】

日本語講座は一日のプログラムを共に過ごす参加者同士のアイスブレイクも兼ねて、グループで机を囲んで色々な話をしながら日本語を学んだ。講師の横田先生からは自身が会社員時代の話や説明会に行く際の身だしなみの話等、日本語だけでなく日本で働くこと全般について話があり、外国人留学生もリラックスして聞いていた。また名刺の渡し方や「角を持つ」「同時に渡し、受け取る」「話が終わってからしまう」等、小さな紙を受け渡すだけのことに日本人が色々な作法を詰め込んでいることが面白いようで、何度も実践する外国人留学生もいた。日本人学生は自身も就職活動をする学生という立場から、外国人留学生と仲良くなりながら補足的な説明を多く行い、講座は明るい雰囲気に進んだ。

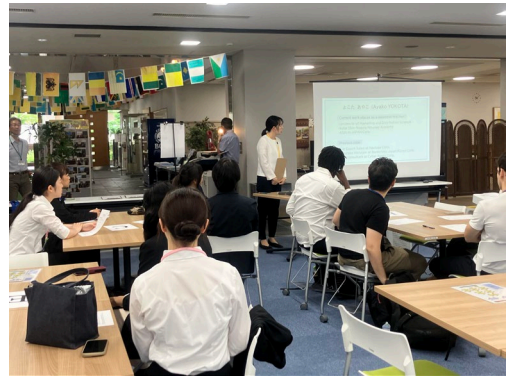
続く企業との交流では、企業からの説明に真剣に聞き入る外国人留学生ばかりだった。専門用語等が出てくる場面、日本人学生が通訳しきれない場面では JICA 関西、JETRO 神戸、当コンソ職員による通訳が入った。日本人学生は、その仕事ぶりも一緒に見て自分の将来に向けてより明確な進路を描けたのではないかと思う。外国人留学生からは「どのようなスキルが必要なのか」「日本語はどのくらい必要か」といった質問が多かったが、企業からは N1 もしくは N2 必須であるという率直な説明があり、その理由まで丁寧に説明してくださっていた。日本語ができなくても働ける企業があればそこに行きたい。と考える外国人留学生は当然多いと思うが、日本語を勉強しようという風に考えを切り替えた外国人留学生もいたのではないかと思

う。終了後の感想では、外国人留学生からは「楽しかった」「本当に貴重な機会だった」「企業の人と落ち着いて話せた」という感想が多く聞かれた。昼食の時間になると日本人学生含め皆で一緒に食事する風景が見られ、学生同士の距離が縮まったと感じられた。

添付資料

2(3)1 Let's GO-SETSU! ガイダンス (午前) 1・2 チラシ

当日の写真



プログラム実施報告書

| | | | |
|---|--|----|---|
| プログラム名 | 2(3)2 Let's GO-SETSU! 外国人留学生合同説明会（午後） | | |
| 日時 | 令和7年6月25日（水）13:30～15:00 | | |
| 開催場所 | 神戸サンボーホール | | |
| 内容 ・ (講師) | 外国人留学生向け合同説明会を訪問し、企業ブースで説明を聞く。英語でのセッションが可能な企業を優先的に回りつつ、会場全体の企業ブースを回る。当コンソ、連携機関および通訳補助学生が通訳サポートをする。 | | |
| 対象 | 大学・大学院生（外国人留学生・日本人学生） | | |
| 主催 | 大学コンソーシアムひょうご神戸 | | |
| 共催 | JICA 関西 JETRO 神戸 | | |
| 参加者 | 計 27 名 延べ人数 | 内訳 | 大学生 7校 13カ国 22名 (外国人留学生: 6校 12カ国 18名、日本人学生: 2校 4名) |
| | | | 一般 1カ国 3名 |
| | | | コンソスタッフ 2名 |
| 内容詳細 | | | |
| <p>【開催経緯】</p> <p>午前中の兵庫国際交流会館ナダコムでの日本語講座、企業の採用関連担当者との交流の後に神戸サンボーホールに移動し、外国人留学生向け合同説明会の企業のブースを回って説明を聞くプログラムを設けた。この合同説明会は毎年行われ多くの外国人留学生が訪れているが、参加したことのない外国人留学生も多い。特に英語トラックの外国人留学生は日本の「就活マナー」に加え日本語への苦手意識もあるため、他の外国人留学生やスタッフ・日本人学生とともに外国人留学生合同説明会を訪問する機会を設けた。会場では、英語での企業説明と質疑応答に対応頂ける企業を優先的に回り、その後各自で自由に企業ブースを回るプログラムとした。日本の企業を知る、就活マナーを学ぶ、日本語を学ぶ、という一つ一つの課題をクリアするための動機付けを目的とした。</p> <p>【プログラム】</p> <p>13:30 兵庫国際交流会館出発</p> <p>13:45 神戸サンボーホール到着、入場手続き</p> <p>13:50 株式会社フジ・データ・システムのブースにて英語での企業説明・質疑応答</p> <p>14:20 株式会社創発システム研究所のブースにて英語での企業説明・質疑応答</p> <p>14:50 株式会社ブレックスのブースにて英語での企業説明・質疑応答</p> <p>15:20～ 各自で自由行動・解散（外国人留学生合同説明会は16:00で閉場）</p> <p>【各回詳細】</p> | | | |

株式会社フジ・データ・システムのブースでは、英語での企業説明のほか、企業理念や福利厚生、外国籍社員に対し一時帰国等を想定した休暇申請システムを持っている等の説明があった。外国人留学生には事前に訪問予定企業について情報を送り、企業ホームページを読んで来るよう周知してあったため、調べて来ている外国人留学生も多かった。質疑応答も盛んに行われた。

株式会社創発システム研究所のブースでは、社長自ら英語での企業説明をして下さり、続いて社員の方からは業務外で外国籍社員と一緒にレクリエーションを行ったり、英語を学ぶ会を開催したり、一緒に旅行に行ったりと盛んに交流をはかっている様子が紹介された。同社はトンネルの換気システム等、インフラ整備に関わる事業で外国人留学生も興味深く聞いていた。

株式会社ブレックスのブースでも英語での企業説明の後は活発な質疑応答となった。引越し業者としてありとあらゆるサービスを展開している同社は、外国籍社員も活躍している。「この業種には興味がない」と言っていた外国人留学生も真剣に説明を聞いていた。

3社の説明を聞いた後は自由行動となり、通訳として同行した日本人学生が適宜サポートしながら、めいめいに企業ブースを回った。

【所感及び今後の展開】

外国人留学生からは、「一人では来ることができなかった。貴重な機会をありがとう」という声を多数貰った。また、1日を通して外国人留学生に同行し、JICA 関西やJETRO 神戸、当コンソ職員による外国人留学生のサポートを見ていた日本人学生からは、「留学生に囲まれてとても楽しかった」「貴重な機会だった」という感想のほか、「自分の語学力が全然足りなかった」「もっと役に立てれば良かった」といった感想もあり、日本人学生にとって大変勉強になる機会となったことがよくわかった。他の国際交流イベントと違い、外国人留学生向けの合同説明会というオフィシャルな場で就活という課題に取り組む外国人留学生をサポートするというのは、ともに課題に立ち向かうという側面がある。外国人留学生がどの業界・業種・企業に興味があるのか聞き取りながらブースを回るという作業は日本人学生にも大きな学びになる。

外国人留学生の日本企業に対する関心は高く、日本語能力の高い外国人留学生も複数名参加していた。一方で全く日本語のできない留学生もおり、外国人留学生合同説明会の場でも自らブースを訪れて説明を聞くことができるかどうか明確に分かれる。こうした状況から、この企画のように日本語レベルを気にせずに企業ブースを訪れて英語で説明をして頂ける機会は貴重であることを再認識した。外国人留学生にとって、学生同士、また学生と企業の間で、お互いを知ることの良い刺激になったのではと思う。日本語ができないから外国人留学生向け合同説明会にも行けない、就職活動もできないとなるのではなく、本企画をきっかけに、日本語の勉強も含め、できるところから就職活動に踏み出す外国人留学生が増えてほしい。

添付資料

2(3)2 Let's GO-SETSU! 外国人留学生合同説明会（午後） チラシ 1・2

当日の写真





WELCOME

中学生・高校生!!

ENGLISH VILLAGE



2026.8.7

英語で話そう！大学のこと、いろいろ教えて！
大学ってどんなところ？大学生のお兄さんお姉さんに、きいてみよう！！

開催日 2026年8月7日 金曜日
 時間 10時～12時
 対象 中学生・高校生
 参加費 無料
 定員 50名
 申込方法 QRコードより申し込み

場所 兵庫国際交流会館 3階 多目的ホール
 アクセス JR線 灘駅、阪神電車 岩屋駅より徒歩5分
 住所 神戸市中央区脇浜町1-2-8



MAP



申し込みはこちら

ダミー

主催：大学コンソーシアムひょうご神戸
 共催：姫路市・ひめじグローバル人材育成コンソーシアム
 後援：兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会



ENGLISH VILLAGE

English Village は、兵庫県内を中心とした大学に留学する外国人留学生や、日本語学校に通う留学生、日本人学生と、中学生・高校生が「英語を使って」交流するイベントとして、毎年開催されています。

今年のテーマは、大学生に、英語で「私の通う大学について」プレゼンテーションをしてもらい、中学生・高校生のみなさんが、生きた英語に触れるとともに、大学生活について直接聞ける、交流の場を作ることです。

自分が将来、どのような大学に通い、どのような大学生になりたいか、夢はふくらんでいることと思います。

実際にキャンパスライフを送る大学生、また、外国から日本の大学で学ぶためにやってきた留学生と交流することで、もっと大学生活を知ることができます。English Villageでは、終始英語を使うことが基本になりますが、もちろん英語が苦手な人も、ぜひチャレンジしてください。大学に入ったら、留学生が周りにたくさんいるかもしれません。日本にきている留学生は、日本語を一生懸命学んでいます。外国語を話す難しさは、みんな共通です。英語を話すことが恥ずかしい人は、どんどん失敗して、慣れましょう！留学生は全力で皆さんをサポートします。日本人の大学生も参加しますので、困ったときは助けてもらいましょう。英語が得意な人、英会話を実践したい人、どんどん喋りましょう！

留学生・日本人の大学生が、英語でプレゼンテーションします。

詳細は、決定次第、大学コンソーシアムひょうご神戸のHPに掲載します。

交流セッションでは、留学生の母国を紹介してもらったり、中学生・高校生から質問したり、どんどん話せます！



EVERYBODY COME ON!
AUG 7 2026

WANTED INTERNATIONAL STUDENTS

PRESENTERS ENGLISH VILLAGE

Fri 7th AUG

Talk with Japanese junior high and high school students in English!
What's your university like? Let's give a presentation in English!

- Topic: What you are learning in the university
- Topic: Favorite spot in your campus
- Topic: Tell us about your friends
- Topic: What brought you to Japan?
- Topic: About your favorite class
- Topic: What you want to do in the future
- Topic: Any other topics about your campus life!

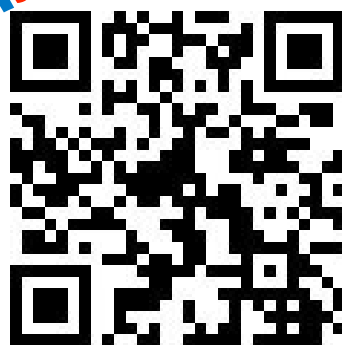
Date Friday 7th Aug 2026
 Time 10am to 12pm
 Target Audience Junior and junior high school students
 Honorarium 3000 yen Starbucks gift card per participant
 Wanted international students and Japanese students who speak English
 Apply From the QR code

Venue Hyogo International House
 Access JR line NADA sta. HANSHIN line IWAYA sta.

日本人学生募集

日本人学生同時募集！キャンパスライフを英語でプレゼンテーションしてください。中学生や高校生との交流セッションでは、大学生活についての質問に答えたり、留学生との会話がたくさんできるよう、英語のサポートなどをお願いします。謝礼はスタバのギフトカード3,000円です。

MAP



主催：大学コンソーシアムひょうご神戸
 共催：姫路市・ひめじグローバル人材育成コンソーシアム
 後援：兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会



ENGLISH VILLAGE

English Village is an annual event where international students studying at universities mainly in Hyogo Prefecture interact with junior high and high school students.

This year's theme is to have university students give presentations in English about "My University," while creating an interactive environment where junior high and high school students can experience real, spoken English and learn about university life firsthand.

Junior high and high school students are full of dreams about what kind of university they will attend in the future and what kind of university students they want to become.

By interacting with university students who are currently experiencing campus life, as well as international students who have come from abroad to study in Japan, they can gain a deeper understanding of university life. During the networking session, please share about your home country and feel free to chat with junior high and high school students.

At English Village, junior high and high school students will challenge themselves to use English throughout the event. Of course, some students may not feel confident in English.

Please support their efforts to communicate in English by working together with Japanese university students.

The difficulty of speaking a foreign language is something we all share.

Students from universities (international and Japanese students) will present. Details will be posted on the Consortium of Universities in Hyogo website once finalized.



EVERYBODY COME ON!
AUG 7 2026

英語村 参加大学生募集要項

1. イベント概要

本イベントは、中学生・高校生を対象に、大学生との交流を通じて英語に親しみ、英語力の向上を目的としたイベントです。また、大学生と接することにより、中高生が持つ大学への興味関心を高めることも期待されます。

英語でのコミュニケーションや英語による大学紹介を通じて、参加者が「英語を使う楽しさ」や「大学生活のリアル」を体感できる場を目指します。

2. イベント名

英語村

— 英語で話そう！大学生のこと、いろいろ教えて！ —

3. 日時

2026年8月7日(金)

10:00～12:00

4. 会場

兵庫国際交流会館 3階 多目的ホール

5. 募集対象

英語でプレゼンテーションが可能な留学生・日本人学生

6. 募集人数

10名から20名

7. 活動内容

○前半

所属大学について、以下の項目を参考に、英語によるプレゼンテーションを行う。
内容は自由に変更可能。

- ①自分が学んでいることについて
- ②キャンパス内のおすすめスポット
- ③友達について
- ④日本に来た理由
- ⑤好きな授業について
- ⑥将来の夢
- ⑦その他、キャンパスライフについて

○後半

中学生・高校生との英語での交流(フリートーク)

留学生は母国の文化紹介、日本人大学生は部活動などに関する質問への対応

8. プレゼンテーションについて

・1人10分以内

- ・英語で実施
- ・内容:大学の特徴、キャンパスライフ、授業、学生生活など
- ・スライドの使用可(任意)

9. 参加者(来場者)

- ・英語を学びたい中学生・高校生
- ・大学生と交流したいと考えている生徒
- ・将来の進学先を検討している生徒

10. 運営協力金

大学生 1 名あたり 3,000 円(スターバックスギフトカード)

11. 応募方法

フォームズに入力する。

チラシ、コンソ HP、LINE 等で周知するチラシに掲載の QR コードから申込。

プログラム実施報告書

| | | | |
|--|---|--------|---|
| プログラム名 | 2(2)ア1 英語村 English Village International Festival | | |
| 日時 | 令和7年7月7日(月曜日) 13:30~15:30 | | |
| 開催場所 | 兵庫国際交流会館 3階多目的ホール | | |
| 内容 ・ (講師) | 英語を学んでいる中学生、高校生と兵庫県の大学に在籍する外国人留学生在が英語を使って交流する機会を提供し、外国人留学生の国や文化について学ぶ目的で行う。 | | |
| 対象 | 大学・大学院生(外国人留学生・日本人学生)・一般(中高生) | | |
| 主催 | 大学コンソーシアムひょうご神戸 | | |
| 後援 | 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会 | | |
| 参加者 | 計 49名 延べ人数 | 内 訳 | 高校生 3校 5名 |
| | | | 中学生 1校 19名 |
| | | | 教職員 1校 4名 |
| | | | 大学生 7校 10カ国 17名 (外国人留学生:6校9カ国11名、日本人学生:3校6名) |
| | | | 一般 2カ国 2名(日本語学校の外国人留学生) |
| | | | コンソスタッフ 2名 |
| 内容詳細 | | | |
| <p>【開催経緯】</p> <p>中学生や高校生が学習している英語を、実際に外国人留学生との交流の中で使うことで、英語学習の成果を実践的に活かす機会を提供することを目的に、本イベントが企画された。様々な国から来た外国人留学生と英語でコミュニケーションを取ることで、教室内では得られないリアルな言語体験をすることができる。</p> <p>一方、外国人留学生にとっても、この機会は自国や文化を中学生や高校生に紹介する貴重なプレゼンテーションの場となる。自身のバックグラウンドを伝える中で、アイデンティティへの理解が深まり、異文化間の相互理解を促進する場ともなっている。</p> <p>【プログラム】</p> <p>13:30 オープニング 外国人留学生の自己紹介</p> <p>13:40 外国人留学生によるプレゼンテーション開始 (10分ごとに次のブースに移る)</p> <p>14:30 休憩</p> <p>14:40 外国人留学生によるプレゼンテーション再開 (10分ごとに次のブースに移る)</p> <p>15:20 フィードバック</p> | | | |

15:30 終了

【各回詳細】

外国人留学生在がそれぞれ12ブースを構え、自国の文化や生活を紹介した。中学生と高校生が各ブースを訪れ、1回10分間のプレゼンテーションと交流セッションに参加。このセッションを繰り返し行い、多様な国について学ぶ機会となった。

外国人留学生にとっては、自国の文化を改めて見つめ直し、それを他者に伝える貴重な場となった。外国人留学生は、民族衣装を着用して紹介したり、伝統的なお菓子や遊び道具、ポストカード等を持参して紹介したりした。ブースごとに特色があり、訪れる生徒たちの関心を引いていた。

中学生と高校生は、興味を持って積極的にブースを回り、質問をしたり展示物に触れたりしながら異文化への理解を深めていた。短時間ながらも濃密な交流を通じて、互いの違いや共通点を学び合い、英語で会話するという目的を超えて有意義な国際交流の場となった。

また外国人留学生と交流したい日本人学生や、教職を目指す日本人学生等を「サポーター」として外国人留学生ブースに入ってもらい、外国人留学生と中高生の橋渡しとして会話に加わった。中高生からの質疑応答を促したり、外国人留学生が紹介するゲームを一緒に楽しんだり、めいめいに活躍した。

【所感及び今後の展開】

中学生と高校生は、それぞれのブースを偏りなく回り、外国人留学生が用意した遊びやクイズ、自分の名前をその国の文字で書く体験等に、楽しそうに取り組んでいたのが印象的だった。交流は一方通行ではなく、外国人留学生自身も中高生と一緒に楽しみながら参加しており、互いに笑顔が絶えなかった。

自国に興味を持ってもらうことは、外国人留学生にとっても大きな喜びであり、発信の意義を実感する貴重な時間となった。文化の紹介という形をとりながらも、言葉や価値観を越えた交流が自然に生まれており、双方にとって深い学びと刺激をもたらす場となっていた。

今後の展望として、社会全体で多様性がますます重視される中、中学生や高校生の段階で、さまざまな国から来た人々と直接触れ合う機会の重要性はさらに高まっていく。加えて、異文化と接する中で、英語をはじめとする言語の必要性も一層拡大していくと考えられる。

サポーターとして参加した日本人学生からは、「自分の英語力が全然足りなかった」「中高生と一緒に過ごして楽しかった」等、それぞれの感想があり、有意義な時間を過ごしたことが伺えた。

今回の取り組みに対して、引率の教員からは「来年は学年全体の生徒を連れてきたい」「もっと大規模に実施してほしい」といった声も上がっており、今後の発展的な実施に向けた期待が高まっている。

添付資料

2(2)ア1 英語村 チラシ

当日の写真



2026年度 国際交流フェスティバル 開催概要

1. 目的

本フェスティバルは、日本人学生、留学生、地域住民、大学、企業、行政等が一堂に会し、多文化共生の理解促進および国際交流の機会創出を目的として開催する。
また、学生主体の企画運営を通じて、実践的な学びと交流の場を創出するとともに、大学コンソーシアムひょうご神戸および連携機関の取組を広く発信し、地域における国際人材の育成・定着に寄与する。

2. 開催概要

名称:2026年度 国際交流フェスティバル
日時:2026年12月5日(土)10:00~17:00
会場:兵庫国際交流会館(多目的ホール、館内各所)
主催:独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)
共催:一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
協力:兵庫県国際交流協会(HIA)、JICA 関西、JETRO 神戸
後援(予定):兵庫県、神戸市、各教育委員会 等

3. 対象

留学生・日本人学生
地域住民(子ども・ファミリー層を含む)
大学教職員
企業・行政関係者

4. 実施内容(予定)

2025年度の実績を踏まえ、以下のコンテンツを中心に実施する。

(1)フードブース

兵庫国際交流会館の在館生を中心とした、留学生による多国籍料理の提供

(2)文化体験・展示

日本文化体験(茶道・書道・浴衣・空手・琴等)および各国文化紹介

(3)参加型企画ブース

学生主体もしくは地域住民主体の、子ども向け展示、ゲーム、実演など
学生主体もしくは地域住民主体の、社会課題(SDGs・防災・国際協力等)を学べるワーク
シヨップ、展示、体験、実演など
留学生との交流企画(例:「留学生と話そう!」・スタンプラリー)
その他学生や地域住民による活動紹介など
地域の企業による紹介やワークシヨップなど

(4)ステージ企画

音楽・ダンス・伝統文化・国紹介など多様なパフォーマンス

5. 2025 年度実績

- 参加者:1,144 名
- 出展者 300 名超が参画
日本人学生・留学生・地域住民・関係機関が一体となって運営
- 出展者内訳
 - ・フードブース:出展者 45 名
 - ・日本文化体験:出展者 37 名
 - ・参加型イベント:出展者 165 名(全 19 ブース)
 - ・ステージ:出演者 61 名(全 15 団体)
- 出展者のうち日本人学生、留学生の数
日本人学生 109 名(加盟校11大学、その他1大学)
留学生 64 名(加盟校9大学、その他1大学)
教職員 20 名(加盟校12大学、その他1教育機関)
- 子ども・ファミリー層に強い訴求力
体験型・参加型コンテンツにより幅広い世代が来場
- 学生主体の企画・運営体制(Team G-Navi 等)
企画・広報・当日運営まで学生が担う実践型プログラム
- 地域×国際×社会課題を横断した学びの場
国際交流に加え、SDGs・防災・国際協力等のテーマを融合

6. 2026 年度の強化ポイント

- 出展者間の交流機会の拡充(時間・動線の工夫)
- 子ども向け体験コンテンツのさらなる強化
- 学生企画の質向上(統一感・見せ方)
- 地元企業・団体の参画拡大(条件付き)
- SNS・動画による広報強化

出展概要

1. 出展対象

- 大学(主に加盟校)
- 国際交流・地域活動団体
- 4者連携協定機関(HIA、JICA 関西、JETRO 神戸)
- 地元企業

2. 出展内容

以下のいずれか、または組み合わせとする。

- 展示(文化紹介・活動紹介 等)
- 体験型企画(ワークショップ・ゲーム 等)
- ステージ発表(音楽・ダンス・伝統文化 等)

3. 出展条件

- 国際交流・多文化共生に資する内容であること
- 来場者(特に子ども・ファミリー層)が参加しやすい企画であること
- 学生もしくは地域住民の主体的な関与があること
- 安全管理・衛生管理に配慮すること
- 営利のみを目的としないこと

4. 出展形式

- ブース出展(館内)
- ステージ出演(希望制・応募多数の場合調整あり)

5. 推奨事項(2025 実績より)

- 体験型・参加型コンテンツの導入
- 多言語・やさしい日本語対応
- 視覚的に分かりやすい装飾・統一感
- 子どもが楽しめる仕掛け(ゲーム・スタンプラリー等)
- 来場者との対話を重視した運営

6. 留意事項

- 火気使用・食品提供・物品販売は事前申請必須
- 搬入出・レイアウトは事務局指示に従うこと
- SNS 掲載・撮影等に関するルールを遵守すること

7. 経費について

出展にかかる経費については、2026年6月を目途に詳細を決定し、別途公表する。
なお、参考として2025年度の取扱いは以下のとおり。2026年度は変更の可能性有。

一般出展(フードブースを除く)

上限10,000円の範囲内で、領収書提出を条件に実費を銀行振込にて支払う。

ステージ出演者

出演者1名につき2,000円分のギフトカードを支給。

入場無料
申し込み不要

INTERNATIONAL EXPO 2025

11月15日 土曜日
10時～18時



Everyone WELCOME!!!!

あらゆる国籍の留学生と話せます！この一日で、何か国の友達ができるかな？

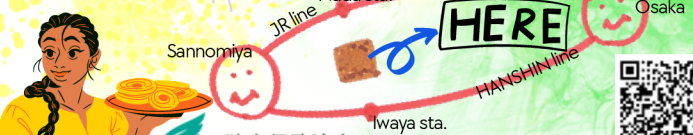
世界各地の料理屋台

※屋台の飲食物は有料です

国際協力入門！留学生と話そう！

音楽ライブとか英語落語

日本文化体験いろいろ



会場：兵庫国際交流会館

JR線 灘駅・阪神線 岩屋駅 より徒歩5分

主催：独立行政法人日本学生支援機構 大学コンソーシアムひょうご神戸
共催：兵庫県国際交流協会 JICA関西 JETRO神戸

後援：兵庫県 神戸市 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

大学コンソーシアムひょうご神戸

HIA
Hyogo International Association

JETRO
日本貿易振興機構(ジェトロ)

jica



世界の料理屋台 EXPO



- ミャンマー
- バングラデシュ
- タイ
- ブラジル
- 台湾
- ベトナム
- フィリピン
- ケニア
- ギニア
- 東ティモール
- etc..



料理屋台の料理は有料です。ブース見学、遊びは無料ですが、一部有料のものもあります。ステージ観覧は無料です。



学びと体験ブース

さまざまな大学の学生・地域のみなさんによる、おもしろブース
学びと体験がいっぱい！子どもから大人まで、どなたでも楽しめます。

- 神戸国際大学 防災救命クラブ DPLS AED/心肺蘇生講習
- 甲南女子大学 Global Citizenship Program 日本の遊び屋台
- 関西学院大学 CLUB GEORDIE 国際交流ゲーム
- 神戸学院大学 GC学部森下ゼミ カラービーズキーホルダーワークショップ
- 神戸学院大学 GC学部森下ゼミ カレンダーラコンフィチュール カレンダーラハーブティー
- 神戸学院大学 BOSAIコミュニケーションカード
- 兵庫県立大学 SDGsPOST ステンシルアート&認証マークビンゴ
- 神戸大学 灘チャレンジ実行委員会 活動紹介、ミニゲーム
- NPO法人Future Code 学生部BYCS 活動紹介・hadanisheaハンドクリームの販売
- HIA・JICA・JETRO・CUH共催 国際協力入門セミナー
- 灘オヤジラボ 灘区観光案内
- JICA関西 青年海外協力隊紹介

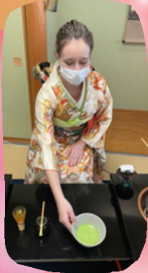


ヨーロッパの刺繍体験ワークショップ
Let's get to know about Seattle!
似顔絵ブース
大切な服、次の誰かへ。心をつなぐふく服交換会

などなど！

日本文化体験いろいろ

- 茶道体験 ZONTA CLUB OF PHOENIX KOBE
- 空手・書道体験 NPO法人ABIC
- 浴衣着付体験 KOKORO-NET
- 琴演奏体験 金子先生



留学生と話そう！

兵庫国際交流会館にはたくさんの留学生が住んでいます。皆さんが訪れるのを楽しみにお待ちしております☆
世界各国から集まった留学生と、話してみませんか？この一日で何か国の人と話せるかな？



ステージ

日本人学生・留学生・地域のみなさんによる、渾身のステージ発表。この日のために練習してきました。みんなで一緒に楽しもう！

- 和太鼓 甲南大学 甲(きのえ)
- ブラスバンド 滝中学校
- 琴 HIIH Koto Club
- 二胡
- クラシックギター
- ジャズギター
- ハビメタ
- アラビア語の歌
- 英語落語
- 南京玉すだれ
- ヨーロッパ民族音楽 European folklore music
- Let's dance in YUKATA!
- ベトナム学生による舞踊 Bonjout Vietnam
- インドネシア伝統舞踊 ガンビョン(GambuYong)
- Let's try Karate!!



プログラム実施報告書

| | | | |
|--|---|----|--|
| プログラム名 | 2(2)ウ1 International Festival HIH EXP02025 | | |
| 上記プログラム内で実施した複数のプログラム | 2(2)イ1 甲南女子大学 GCP プログラム 3NGV93 CLUB GEORDIE 日本の心と遊び体験 3NGV94 国際協力入門セミナー | | |
| 日時 | 令和7年11月15日(土曜日) 10:00~17:00 | | |
| 開催場所 | 兵庫国際交流会館 多目的ホール・ナダコムステーション・その他 | | |
| 内容 ・ (講師) | 兵庫国際交流会館居住の寮生、大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「当コンソ」)加盟校の学生・留学生・教職員、加盟校外学生・留学生、当コンソ連携組織、地域住民が協力し、様々な食品販売・展示・ワークショップ・パフォーマンスを行う。一般に広く開放し、家族連れや子どもたちが楽しめる国際交流イベントを作り上げる。スタッフとして準備段階から Team G-Navi の多国籍メンバーが取組み、広報・装飾・当日の運営等で活躍する。 | | |
| 対象 | 大学・大学院生(外国人留学生・日本人学生)・教職員・一般 | | |
| 主催 | 日本学生支援機構(以下 JASSO)・大学コンソーシアムひょうご神戸 | | |
| 共催 | 兵庫県国際交流協会 JICA 関西 JETRO 神戸 | | |
| 後援 | 兵庫県・神戸市・兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会 | | |
| 参加者 | 計 1144 名 うち 出展者 306 名 来場者 838 名 (推計) | 内訳 | 教職員 12 校 20 名 大学生 18 校 20 カ国 173 名 (外国人留学生: 12 校 19 カ国 64 名、日本人学生: 12 校 109 名) 中学生 1 校 1 カ国 15 名 一般 12 カ国 930 名(うち来場者 838 名、推計) コンソスタッフ 6 名 |
| 内容詳細 | | | |
| 【開催経緯】 従来から JASSO 主催で行っていた年に 1 回のフェスティバルを当コンソと共催で行うこととなり、地域住民や当コンソ加盟校のみならず、加盟校ではないが日頃の活動でつながっている日本語学校等、広く協力を募り、一つのお祭りを作り上げた。HIH EXPO という命名や、ポスターやインスタに使用するロゴのデザイン等、当初から国籍を問わず学生の積極的な参加があり、当日の運営まで Team G-Navi の学生が楽しみながら活動し、多くの一般客を迎える構想を実現した。出展者側・来場者側に多くの地域住民を迎え、世代を超えて兵庫国際交流会館に暮らす留学生との交流をはかること、また大学の枠を超えて多くの学生が集まり | | | |

日頃の成果を披露する場をつくることで、新たな出会いや将来へのきっかけを得られる場となるよう、計画した。

【プログラム】

①フードブース 出展者 45名

ミャンマー、バングラデシュ、タイ、ブラジル、台湾、ベトナム、フィリピン、ケニア、ギニア、東ティモール、イギリス、日本

②日本文化体験 出展者 37名

浴衣着付け体験、空手体験、書道体験、裏千家茶道体験、琴演奏体験

③参加型イベント

全19ブース、出展者165名

| | |
|-------------------------------------|---|
| 神戸学院大学 BOSAI コミュニケーションカード | BOSAI コミュニケーションカード展示 |
| フォトブース | 来場者が写真撮影できる場所を複数設置 |
| 甲南女子大学 Global Citizenship Program*1 | 日本の伝統的な遊びに挑戦！ |
| 甲南女子大学 Global Citizenship Program*1 | 折り紙や魚釣りゲームで遊ぼう！ |
| まさきひろし | ポンコツじいちゃんの似顔絵 |
| HIA・JICA 関西・JETRO 神戸・当コンソ共催*3 | 国際協力入門セミナー |
| SDGsPOST | ステンシルアート&認証マークビンゴ |
| ふく服交換会 | 大切な服、次の誰かへ。心をつなぐふく服交換会 |
| 留学生有志 | 留学生と話そう！ |
| シューネル・アンナ | 似顔絵や漫画で文化交流しましょう！★ |
| 灘チャレンジ実行委員会 | あなたの故郷の話でこの紙をカラフルにしてください |
| 神戸国際大学 DPLS | AED や心肺蘇生の体験 |
| コミュニカ学院 | ヨーロッパの刺繍体験 |
| 関西学院大学 CLUB GEORDIE*2 | 日本の心と遊び体験 |
| 灘オヤジラボ | 灘区観光案内 |
| 認定特定非営利活動法人 Future Code 学生部 BYCS | 神戸から広げる国際協力の輪～ブルキナファソ産シアバターを配合した hadanishea ハンドクリーム の販売～ |
| 神戸学院大学 GC 学部森下ゼミ | カラービーズを使ったキーホルダー作りのワークショップ |
| 太陽刷子(株) | 歯ブラシ販売会&もれなく1本プレゼント！・開発中歯磨き粉のご紹介 |
| JICA 関西 | JICA 海外協力隊紹介 |

上記表の中の*1、*2、*3 は本イベント内で実施した他のプログラム。

*1→2(2)イ1

*2→3NGV93

*3→3NGV94

④ステージ

全 15 団体、出演者 61 名

| | |
|----------------------------|---|
| 和太鼓演奏 | 甲南大学和太鼓同好会 甲（きのえ） |
| ブラスバンド演奏 | 渚中学 |
| Myanmar Thingyan Dance | Chann Nyein Soe |
| HIH お琴教室演奏 | HIH お琴教室 |
| クラシックギター演奏 | 白石 知穂 |
| ヨーロッパ民族音楽 | Jamnicky Ladislav |
| 英語落語 | 小林 一美 |
| インドネシア伝統舞踊 ガンビョン(Gambyong) | 河島 加奈子 |
| Let's try KARATE! | Eduardo Spengler, Dalcin Bertoldo Luiza |
| 和太鼓演奏、フルート | 佐野 裁洋 |
| Jazz Guitar Duo | Jazz Guitar Duo |
| ゆかたでダンス | KOKORO-NET |
| Metal Goes J-Pop! | ソウ、イム・チャンミン |
| Timor-Leste TAIS | Da Conceicao Gusmao Matilde |
| ベトナムダンス | サオ・マイ |

上記①②③④が館内に展開し、多くの来場者を迎えた。

【各回詳細】

①フードブース

兵庫国際交流会館に居住する留学生を中心に、45 名が出展者として参加。腕をふるって多数のメニューを展開した。12 カ国の華やかな衣装を着た留学生が、料理の説明をしながら暖かい手作りの食事を提供。各メニューにつき 30～60 食程度、複数メニューを各国の留学生がチームとなって提供し、ずらりと並んだカラフルな料理と匂いでいっぱいになった。ブースを越えて留学生同士も賑やかに交流が行われ、非常に華やかな雰囲気となった。お昼時には各ブースに行列ができ、座席も満席となった。早々に売り切れるブースもあった。このフードブースを楽しみに来場したという来場者も多く、子どもから大人まで多くの人が各国の料理の説明を聞きながら、食事を楽しんだ。

また 2 階に設営したコーヒーと菓子のブース（日本）、スコーンブース（イギリス）も盛況となった。コーヒーブースは学生と社会人混交の有志スタッフが会場全体の運営をしながら交代で担当し（上記 45 名には含まず）、100 杯以上を提供した。スコーンはたくさん焼いてもすぐ売れる状況で、来場者の動線が 2 階を素通りすることなく、館内全体を満遍なく見て回ってもらえた。

②日本文化体験

かねてから兵庫国際交流会館を拠点に日本文化各種教室で指導にあたっている各団体が、一般来場者・留学生・子どもたちそれぞれが楽しめるプログラムを用意して臨んだ。浴衣着付け体験では 7 名のスタッフが子ども、留学生、一般の方に着付けをした。午後のステージでは 13 名が出演し、短いダンスを踊って盛り上げた。空手体験では子どもを含む来場者へ空手の型の指導等を行った。指導にあたった団体 ABIC にはトーゴ人の出展者もあり、来場者との交流も弾んでいた。裏千家茶道体験では普段から指導にあたっている中道先生を筆頭に、中道先生の生徒である留学生たちも着物を着付けしてもらい、美しい茶道のお点前を披露

した。書道体験では出展者の中からも体験希望者が体験する等、常に席が埋まっている状況であった。3階多目的ホールのロビーで行った琴演奏体験では、普段は琴を習う立場の留学生も指導にあたった。子どもの体験希望者が非常に多く、琴指導者の金子先生からは「子ども用の演奏用爪等の道具をもっと用意しておくべきだった」との声もあったほど、盛況であった。舞台では金子先生を含む琴の師範複数名が参加し、留学生とともに演奏した。

③参加型イベント

165名の出展者が集まり、各ブースで工夫をこらしたプログラムが展開された。日本人・留学生の大学生の学生らしいアイデアに溢れたアトラクションで、来場者も遊びきれないほどであった。

各大学の先生方や社会連携課職員等、教職員も積極的に参加し、多くの学生を取りまとめたので、終日、安定してプログラムが実施された。また学生が多いブースではお揃いのビブスやTシャツを着る等統一感があり、また来場者にとってもわかりやすかった。子どもたちはお兄さんお姉さんと遊びながらさまざまなワークショップに参加でき、非常に喜んでいて、留学経験のある大学生と話せるよ！等の呼び込み等、留学に興味のある子どもたちへの働きかけも自発的なアイデアで活発に行われた。「認証マーク」や「SDGs」「途上国支援」「防災」「救急救命」等、社会課題解決のための活動を楽しく学べるブースが多く出展した。家族連れの出展者が多かったため、若い子育て世代の保護者と、子どもたち両者に楽しんでもらえる、学んでもらえる出展内容となっていた。

また、留学生による出展では、個人の技術を活かした似顔絵や刺繍指導等個性的な出展があり、どちらも休憩する暇もないほどの盛況ぶりであった。どちらのブースでも「忙しくて大変です」と言いながらも、来場者と丁寧に会話をしながら対応し、とても良い経験になった、とのことだった。2階で行った「留学生と話そう！」のコーナーでは、留学生有志がそれぞれの国の衣装を着て来場者を出迎え、自分の国について紹介したり質疑応答したりした。家族連れが多く、子どもたちに質問を促す親の姿も見られた。留学生は自国の衣装の装飾品や帽子を子どもたちに身につけてあげる等、対話を楽しんでいた。中にはこのコーナーのために留学生への質問を用意してきた子もいた。留学生と話すとスタンプが貰えて、3個たまるとステッカーが貰える、というスタンプラリーを行ったところ、参加者は70名弱であった。家族連れでの来場者を考慮すると、100名以上が訪れたと推計される。

兵庫県国際交流協会（以下HIA）・JICA 関西・JETRO 神戸・当コンソ共催で行った「国際協力入門セミナー」では、国際協力分野で活躍する社会人および学生が自身の体験やこれまでの経緯を語り、来場者と対話しながら、それぞれができる国際協力とは何か見つけていく時間となった。来場者は一般・学生・スタッフ含め計63名で、会場が満席となった。

また兵庫国際交流会館のある灘区・中央区は古い地域で、酒造で有名な灘五郷だけでなく、地元密着型の企業や商店街、自然遺産等、観光できる場所も多い。地域で街歩きや子ども向けイベントで活動する団体も出展し、各所から集めたパンフレット等を多く並べて説明した。また来場者との交流として、じゃんけんて負けたら新聞紙で作った兜をかぶり、勝った方は新聞紙の棒で相手を叩くというゲームで、国籍を問わず多くの来場者と盛り上がっていた。

神戸市を拠点とする、当コンソの関連企業・連携団体からの出展もあった。数は少なかったが、自社・自団体の活動紹介や、留学生や大学生、高校生、若手社会人等へのPR等を行った。自社製品に対する留学生からの評価を開発に活かしたい、という企業側のニーズとマッチし、活発なやり取りがあった。

④ステージ

ステージパフォーマンスは、音楽、歌、ダンス、その他ステージで発表したいパフォーマーを募り、実施した。日本人学生、留学生、一般から募集した。楽器の得意な留学生や地域で楽器を指導する先生、大学のサークルで楽器演奏している学生等が集まった。社会人の出演者と学生の出演者が混在し、それぞれの日頃の成果を披露した。ステージの司会進行は日本人学生と留学生のペアで、7時間のプログラムを4名のチームで運営した。また控室での点呼、動線確認、舞台裏からの誘導等も全て学生アルバイトが担当した。途中の出演者の入れ替わりや機材設定、客席が少ない時には盛り上げ役、マイク回し等は司会担当の学生が協力してこなした。ステージは学生8名による勇壮な和太鼓の演奏に続き、中学生によるブラスバンド、ミャンマーのギター&ダンスチーム等が出演した。民族衣装を着た留学生のダンスや英語落語等のパフォーマンスのほか、神戸市にただ一人という東ティモールからの留学生による自国紹介や、空手を学ぶブラジル人による型の披露等、個性豊かなパフォーマンスがあった。

【所感及び今後の展開】

出展者だけで300名超という規模になり、多くの学生と地域住民が出展者・スタッフとして活躍したことは非常に意味があった。1階では10時の開場とともに、JASSOの土保課長より挨拶があり、お客様が次々と来場した。兵庫国際交流会館に住む留学生によるフードブースは一般に開催されている他のイベントでは体験することができないものであり、おいしい食事だけでなく留学生による丁寧な説明や民族衣装も加わり、多くの来場者にとって忘れられない体験となった。兵庫国際交流会館職員、またRAによる、フードブースの出展留学生への対応や設営・準備・当日のお客様対応・ブース運営補助・撤収の動きにより、当コンソの人手不足や知識不足、経験不足による事故やトラブルが発生することなく、無事に終えることができた。

出展内容では、神戸に学ぶ学生・地域住民による「国際交流」「社会課題への取組」をテーマとしたブースなど、この兵庫国際交流会館でしか実施できない特色あるフェスティバルを作り上げた。また、教育委員会を通しての地元小学校・中学校への広報、地元児童館や保育関連施設への地道なチラシ配布、また当コンソ加盟校の神戸常盤大学が運営する子育て支援施設への広報の結果、国際交流や社会課題解決、高大連携、地域連携等に意識の高い若い子育て世代が多く来られた。学生と言葉を交わす社会人の姿が多かったり、留学生と英語で会話したり、自身の子どもに交流を促す等、多国籍の留学生に対して興味と理解を持って接している来場者が多かった。

不特定多数を対象とするイベントではリスクやトラブルはつきものだが、当日の会場内でのトラブルや、動画撮影や配信、事後のSNS掲載をめぐるトラブル等も一切なく、無事に終えたことは一つの成果である。

またステージでは、リハーサルを重ね、機材のことや運搬等様々な課題を出演者とスタッフが一緒に考え解決して臨んだ。この過程で、「困難を乗り越え、一緒に取り組めて良かったです」という感想をくれた留学生が何名もいた。音楽にかけるこだわりや想いがあり、他の話題なら言葉の壁を感じて引き下がってしまうところも、譲らずに主張してくれたことは、当コンソスタッフだけでなく運営スタッフとして取り組んだアルバイト学生たちにも伝わり、大きな経験となった。また出演者の到着確認、点呼、準備、ステージまでの動線案内、退場まで、時間通りにステージを回すという責任ある仕事をアルバイトの学生チームがやり遂げたことは、当コンソスタッフの補助があったとはいえ、とても良い経験となったことと思う。

来場者との会話では、どの世代の方からも、好意的な感想があった。わざわざスタッフを呼び止めて、「来年もやってほしい」とお褒めの言葉を下さる来場者も複数いた。家族連れの出場者からも、「子連れにはたまらない内容」との感想がある等、兵庫国際交流会館を訪れた方々がこの雰囲気を楽しまれたことが最も意義のあることだった。

今後の展開としては、兵庫国際交流会館の寮生と外部の学生との共同作業や、スタッフとして関わることを通じた交流をより活発に行いたい。例えばフードブースの出展者は多目的ホールのステージを見られな

い時間帯がある等の問題があり、まだまだ交流の余地は大きい。こうした問題を解決し、出展者側の一体感をより高める必要性を感じた。また、今回は企業としての出展は東灘区にある歯ブラシのメーカー1社であったが、国によって大きく違う口腔ケアについて、留学生と情報交換ができて非常に良かったとの感想があった。地元企業に限り、営利目的は除外する等の一定の条件を設けたうえで、このフェスティバルに参加してもらおうという可能性も、今後の展開のひとつの選択肢であろうかと思われる。

添付資料

チラシ

当日の写真





